

沖縄の多様な文化芸術の
新たなチャレンジを公募します。

受付期間 2025年
4月15日(火)～4月21日(月)

※応募締切: 令和7(2025)年4月21日(月)必着
(持参の場合は17:00まで)

相談期間 2025年
3月17日(月)～4月11日(金)

[受付時間] 平日10:00～16:00 ※要予約

補助金額

団体 上限 **500万円** 組織の基盤強化や
新事業の
チャレンジに!
(補助率1年目=90%、2年目=80%、3年目=70%)

スタートアップ 上限 **100万円** 設立5年未満*1の団体の
新たなチャレンジを
後押し!
(補助率1年目=90%、2年目=80%、3年目=70%)

個人事業主 上限 **100万円** フリーランスも
応募可能!
(補助率=90%) ※個人の補助回数は1回限り

※既存の自事業の延長となるものや、新規性がみられないものは対象になりません。
まずはご相談下さい。

※補助事業は、外部有識者による毎年度の審査・採択を受けることで、最長3回の補助を受けることができます。初年度での採択は次年度以降の採択を確約するものではありません。

※本事業は、国及び県の令和7年度における本予算成立および本事業に係る沖縄振興特別推進交付金の交付決定を前提とするものであり、現時点では全て予定となっております。本交付金の交付決定がなされなかった場合等は実施をしないことがありますので、必ずお問合せください。

*1:スタートアップの対象は、「設立5年未満」または「沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業の採択実績がない」団体

公募する事業区分

本事業では、下記の区分の取り組みを公募します。
※外部有識者による審査の上、沖縄県により交付を決定します。
※下記に示した取り組み例は、あくまでも例示です。区分1～3の選択にあたっては、応募する事業の目的、ご自身の活動に即した内容でご応募ください。

**1 文化芸術団体等の組織力向上・
基盤強化に資する取り組み**

- ・文化芸術活動の継続や強化に向けて、事務局体制の向上や基盤強化を図る取り組み
- ・文化芸術活動を支える担い手等の育成・継承に関する取り組み
- ・個人事業主による文化芸術活動の継続や強化に向けた自己研鑽に係る取り組み
- ・オンライン配信や映像制作のスキルアップのための取り組みなど

**2 文化芸術を次代に引き継ぐ
新たな創造発信を伴う取り組み**

- ・認知度の向上やリピーター獲得に向けた体系的な計画を有する文化芸術事業
- ・創作人材の育成に係る魅力ある創造発信を伴う取り組み
- ・アーティストの交流等を促進する取り組み
- ・一過性のイベントではなく、新規性のみられるライブや上映会、公演、展覧会 など

**3 文化芸術を通じて地域の諸課題解決や
活性化の促進等に寄与する取り組み**

- ・県内の民間事業所(観光、まちづくり、産業等関連分野)や教育機関(各種学校、図書館、博物館、公民館等)等と連携して行う取り組み
- ・共生社会実現に向けて関係機関(福祉、国際交流等関連分野)と連携して行う取り組み など

補助対象期間

団体・スタートアップ 交付決定日から
令和8年2月28日(土)までに
完了する取り組み

個人事業主 交付決定日から
令和7年12月31日(水)までに
完了する取り組み

補助対象経費

1 人件費 **2 事業費*2**

*2:(賃金、報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料)
※補助対象にならない経費もございます。詳細は公募要領をご確認ください。
※概算払い(5割まで)が可能です。

問い合わせ・応募先

応募は期間中に下記まで郵送(配達記録ができるもの)又は持参

〒901-0152 沖縄県那覇市字小祿1831-1 沖縄産業支援センター6階 605
公益財団法人沖縄県文化振興会(沖縄アーツカウンシル)
「沖縄文化芸術の創造発信支援事業」担当者宛

公募の詳細について

沖縄アーツカウンシルのウェブサイトにて公募要領をよくご確認ください、応募書類をダウンロードの上、作成してください(手書き不可)。
<https://okicul-pr.jp/oac/grants/>



電話でのお問い合わせ

TEL:098-987-0926(平日9:00～17:00)



**沖縄の多様な文化芸術の
新たなチャレンジを公募します!**

令和7(2025)年度・補助事業

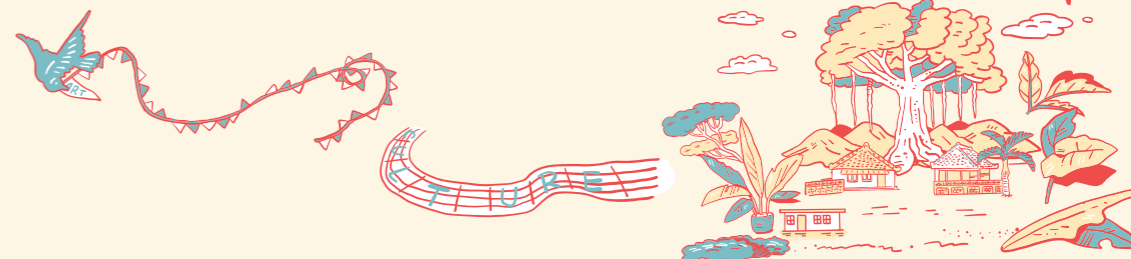
**沖縄文化芸術の
創造発信支援事業**

伝統文化	組踊、琉球芸能、伝統行事、食文化 etc.	芸能	民俗芸能 etc.
芸術	文学、音楽、美術、演劇、舞踊、 メディア芸術(映画、漫画、アニメーション) etc.	生活文化	海人文化 etc.
文化財等	有形及び無形の文化財、歴史的価値がある 文書及び記録 etc.		

様々な沖縄の文化・芸術の取り組みが採択されています。まずはご相談下さい。

沖縄文化芸術の創造発信支援事業とは

文化芸術に関わる県内の団体等が行う各種の取り組みを補助することにより、本県の多様で豊かな地域の伝統芸能や文化芸術といった文化資源を活用した文化芸術活動の持続的発展を図ることを目的としています。ここでは、過去の採択事業者の一部をご紹介します。



団体

区分2 文化芸術を次代に引き継ぐ新たな創造発信を伴う取り組み

1

うちなー
沖縄ファミリーヒストリープロジェクト実行委員会

うちなー 沖縄ファミリーヒストリープロジェクト

沖縄から移民した世界のウチナーンチュの歴史や文化、生活史的背景を学ぶ機会を創出することで、沖縄における文化の重要性を県内で啓発し、国際理解・異文化理解につなげることをめざした。ファミリーヒストリー（家族の歴史）を軸に、移民関係者へのヒアリングや、ワークショップの開発に取り組んだ。



詳しい事業の内容や
現在の活動状況はこちら



スタートアップ

区分1 文化芸術団体等の組織力向上・基盤強化に資する取り組み

4

ヨルベ

アーティストの労働環境を整えるための実践講座

沖縄県のアートワーカーが置かれている環境の改善をめざし、契約に対する認識不足やハラスメント問題など、業界が抱える課題に向き合うための連続的な講座・ワークショップを開催。また、参加者への個別インタビューをアーカイブとしてまとめることで、一人一人の行動変容を促し、社会の意識変革に向けた取り組みを展開した。



詳しい事業の内容や
現在の活動状況はこちら



団体

区分2 文化芸術を次代に引き継ぐ新たな創造発信を伴う取り組み

2

Maeda Lacquer Project（漆工房・前田貝揃案）

琉球漆器螺鈿伝統技術を若者へ広げるための「Gateway 作品」試作事業

螺鈿をはじめとする琉球漆器の伝統技術を継承し、現代の生活様式や価値観、美意識、ニーズに対応する新たな琉球漆器のあり方を提案。他業種との連携や新技術の開発、デジタル技術の導入に取り組むなど「Gateway（入口）作品」を製作。アーティスト同士の分野を越えた交流の場を創出し、次世代へと引き継ぎ、琉球漆器の発展をめざした。



詳しい事業の内容や
現在の活動状況はこちら



詳しい事業の内容や
現在の活動状況はこちら



個人

区分2 文化芸術を次代に引き継ぐ新たな創造発信を伴う取り組み

5

ESM OKINAWA キュレーター 内間直子

海外レジデンスプログラムを通して共同企画を育み文化交流を促す

ポーランドのBWAヴロツワフ現代美術館とニューホライズン国際映画祭にレジデンス参加し、現地での調査やさまざまな機関との協働によるプロジェクトを開発。帰国後には報告会や講座、ポर्टフォリオレビューといった県内従事者らとの共有・対話の場を設け、担い手の育成と継続した活動を育む環境づくりに取り組んだ。



詳しい事業の内容や
現在の活動状況はこちら



団体

区分3 文化芸術を通じて地域の諸課題解決や活性化の促進等に寄与する取り組み

3

有限会社スーチューマー

飲食店と学ぶ、沖縄・琉球の豚食文化

沖縄の人々が古くから育んできた豚食文化。豚と密接に関わっていた伝統的な暮らしの知恵や風習、捨てる部位なく食すための調理・保存技術の継承をめざし、飲食店が担い手として学び、発信するための取り組みを展開。勉強会や地域への聞き取り調査、“わーくるし後の豚肉処理”の実践・記録を、地元住民や博物館等の教育機関を巻き込みながら実施した。

個人

区分1 文化芸術団体等の組織力向上・基盤強化に資する取り組み

6

波平直毅

多良間島と沖縄本島を八月踊りの芸能で繋ぐことで人材育成を図る

多良間島の八月踊りの獅子舞を継承する「獅子座」のメンバーを招聘し、本島在住の「金丸獅子」のメンバーが技術・知識を学ぶ機会を創出。また、獅子舞や八月踊りの歴史に関する聞き取り調査を行ったほか、獅子頭の記録とレプリカの製作により、現地メンバーとの演舞での共演を容易化し、長期的な交流の促進につなげた。



詳しい事業の内容や
現在の活動状況はこちら

